

屋外用BS・CSラインブースター

BS・CS-IF増幅
MODEL CSBE25C

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



HSマーク（ハイシールドマーク）は、一般社団法人 電子情報技術産業協会で審査・登録され、衛星テレビジョン放送の中間周波数帯域において、一定以上の遮へい性能を有する機器に付与されるシンボルマークです。

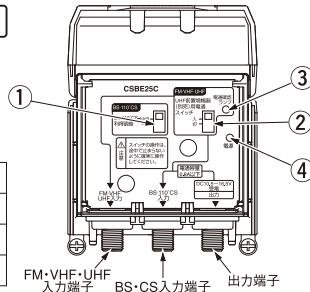
出荷時の設定

- BS・110°CS利得調整スイッチ ー10dB側
- UHF前置増幅器用電通スイッチ "切"

| | |
|------|---|
| ●同梱品 | 防水キャップ 3個 Uボルト（本体取付済） 1個 蝶ナット（本体取付済） 2個 |
|------|---|

| |
|---|
| マスト受け金具（本体取付済） 1個 取付ねじ（本体取付済） 2本 取扱説明書（保証書付） 1部 |
|---|

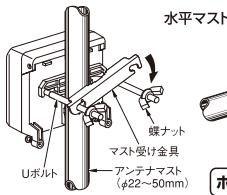
各部の名称



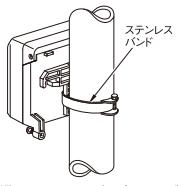
取付方法

●マスト取付の場合

○Uボルトを使用の場合 Uボルトを持ち上げ、マスト受け金具を挿入し、蝶ナットでしっかりと締めつけます。



○ステンレスバンド（市販品）を使用の場合 ステンレス幅5~20mmのものを使用してください。マスト受け用金具とUボルトは取りはずしてください。



ポイント

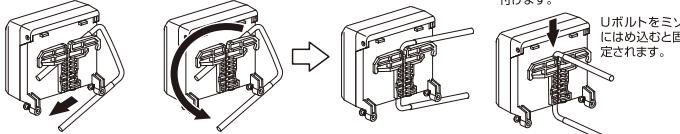
水平マストに取付ける場合は、一旦蝶ナット、マスト受け金具、Uボルトを取りはずし、Uボルトの取付方法に従い、再度取付けてください。

●Uボルトの取付方法 水平マスト時

蝶ナットとマスト受け金具は一旦取りはずします。Uボルトの取りはずし方をご確認ください。

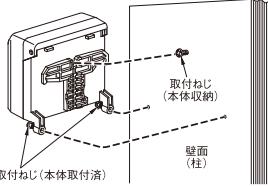
①矢印の方向にUボルトをしっかりと挿入後、矢印の方向にUボルトを回転します。

②Uボルトを回転して、マスト受け金具を挿入し、蝶ナットでしっかりと締め付けます。



●壁面取付の場合

本体にセットされた取付ねじ2本でしっかりと固定してください。マスト受け用金具とUボルトは取りはずしてください。

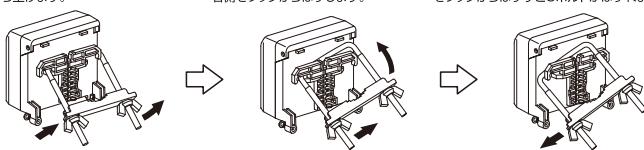


Uボルトの取りはずし方

①蝶ナットをゆるめてUボルトを少し持ち上げます。

②Uボルトを右にすらしてUボルトの右側をフックからはずします。

③次にUボルトを左にすらしてUボルトの左側をフックからはずすとUボルトがはずれます。



ポイント

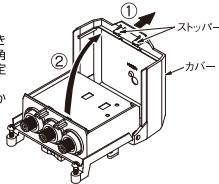
再びUボルトを取付ける場合は、逆の手順で取付けてください。

設置場所・条件

- 高温の場所、有毒ガスなどの発生する場所はさけてください。
- 増幅器や電源部は発熱しますので、熱のこもる場所はさけてください。
- 電気配線、電気工作物の近くや、強い電磁波を受ける場所をさせてください。
- 増幅部や電源部はメンテナンスに容易な目の届く場所に設置してください。

■ケースの開けかた

カバーを上側に持ち上げると開きます。カバーは本体に対して直角程度まで開くことをストッパーで固定されます。操作が完了したらカバーをしっかり確実に閉めてください。



標準性能表

| 周 波 数 帯 域 (MHz) | FM・VHF・UHF 10~770 | BS・CS-IF 1032~3224 |
|----------------------------|----------------------|-----------------------|
| 利 得 (dB) | -3.0(パス)以上 | 18/23 ※1 |
| 利 得 調 整 (dB) | — | 0, -10 ※4 |
| 定 格 出 力 レ ベ ル (dB μ V) | — | 90/95(50波)※1 |
| 雑 音 指 数 (dB) | — | 8 |
| C I N R (dB) | — | 28以上 |
| 不 要 放 射 (dB μ V/m) | — | 34以下 ※3 |
| 入力・出力インピーダンス (Ω) | 75 | |
| 電 壓 定 在 波 比 | 2.5以下 | |
| 受 電 電 壓 / 電 流 (V/A) | DC+10.5~16.5/0.07 | |
| 電 通 容 量 (V/A) | DC16.5/最大0.8 | ※2 |
| 外 形 尺 法 (mm) | 高さ82.5 幅83 厚さ47 | |
| 質 量 (g) | 約250 | |
| 使 用 温 度 範 囲 (°C) | -20~+50 | |

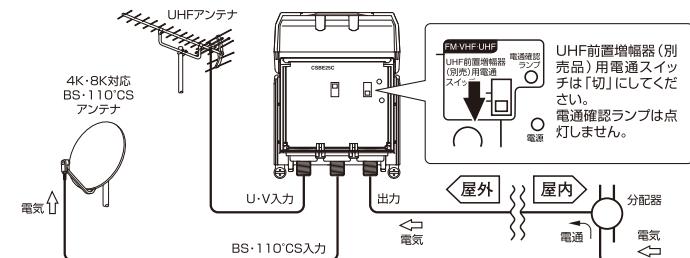
- 出力→BS・CS入力間 常時電流通過 ※1 1032/3224MHzの値
- V・U入力端子へ電流通過可能（スイッチ切換） ※2 入力端子合計
- ※3 3m法による
- ※4 スイッチ切換

使用例（接続例）および調整方法

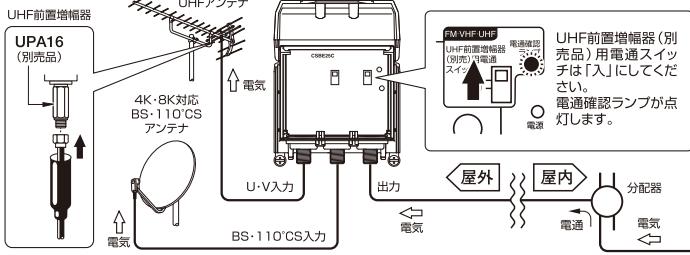
△注意

UHF・VHF端子側でUHF前置増幅器（ブースター）を設置する際に、UHF前置増幅器（別売品）用電通スイッチで電通が可能です。BS・CS端子側は常時電通します。※UHF・VHF側に電源を供給しない場合は、切換スイッチを必ず「切」にしてください。ショートの原因となります。その際、電通ランプは点灯しませんが、故障ではありません。

●使用例1 UHF前置増幅器（別売品）を使用しない時



●使用例2 UHF前置増幅器（別売品：地デジブースター UPA16）を使用する時



■BS・110°CS帯域の入力レベル調整について

○テレビ画面が映らなかったり（ブラックアウト）、モザイク状のノイズ（ブロックノイズ）が出る場合は、電波が強すぎるかもしれません、電波が弱いことがあります。

○製品出荷時の各スイッチの設定は、UHF前置増幅器用電通スイッチ"切"（下側）、BS・110°CS利得調整スイッチはー10dB側（上側）に設定されています。

●BS・110°CSの受信電波が弱い場合

BS・110°CS利得調整スイッチ0dB側（下側）に切り換えてください。それでも改善しない場合はアンテナの方向や設置位置を確認、改善してください。

●BS・110°CSの受信電波が強い場合

BS・110°CS利得調整スイッチー10dB側（上側）に切り換えてください。それでも電波が強い場合は、別売の3.2G対応減衰器（ゾッタネーター）を該当する入力端子、もしくはBS・110°CSアンテナの出力端子に接続してください。減衰器は必ず電通タイプをご使用ください。

安全上の注意

絵表示について この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

△ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意(注意・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

△ 警告

●べらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないで、指定の固定方法で取付けてください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●雷が鳴りだしたら、アンテナ線、機器には触れないでください。感電の原因となります。



●本品上面のカバーをはずしたり、改造したりしないでください。また、本品の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店工事業者にて依頼ください。



●湿気やほごりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所(調理台や加湿器のそば)に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。故障や火災・感電の原因となることがあります。



●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●旅行などで長期間、本品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



●本品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



△ 注意

●本品に水が入ったり、電源部がぬれたりしないようにご注意ください。風呂場で使用したり、本品の上に薬品や水などの入った花瓶、容器を置いたりしないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。また、雨天・降雨中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。ベットなどの生物が本品の上に乗らないようにご注意ください。排泄物や体毛が中に入った場合、火災・感電の原因となります。



●本品の開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差込んだり、落としたたりしないでください。火災・感電の原因となります。



●また、本品の上に小さな金属物(クギ、針、ヘアピン、クリップピンなど)を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。



●お手入れの際には、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。



●本品の取扱工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

*送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

*CS、BS放送用受信アンテナは強風の影響を受けやすいので、堅固に取付・設置してください。



●本器の上に他の機器を乗せたり、本器を他の機器の上に乗せないでください。他の機器の発熱によって、本器内部の温度が上がり、故障の原因になることがあります。



使用上の注意

アンテナレベルについて

注1 デジタルテレビなどの“アンテナレベル”的数値は、アンテナ設置方向を確認する際の目安値です。電波の強さを表す値ではないため、本器を使用しても大きくなるとは限りません。

デジタル放送受信について

注2 本器設置後、テレビ画面が映らない(ブラックアウト)、画面上にモザイク状のノイズ(ブロックノイズ)などの症状が出る場合は、調整の他に以下の項目をご確認(調整して)ください。

①テレビ(チューナー)への入力レベルが低い場合

●アンテナの位置、方向および高さなどを、調整してください。

②テレビ(チューナー)への入力レベルが高い場合

●テレビのアンテナ入力端子に減衰器(アンテネーター・別売品)を取付けてください。

注3 チャンネル間のレベル差が極端に大きいと、レベルの低いチャンネルにモザイク状のノイズ(ブロックノイズ)などが出る場合があります。

機器の接続について

注4 入力端子・出力端子のケーブル配線および接続は確実におこなってください。(入力端子・出力端子のケーブル配線や接続方法が悪いと画像不良の原因となります。)

注5 F型接栓の接続は確実におこなってください。F型接栓がゆるんでいると、風によるケーブルの振動などにより、F型接栓がはずることがあります。ケーブルは別売のインシュレーターでしっかりと固定してください。

注6 UHFアンテナに直接電気を送らないでください。

注7 UHF入力端子に地デジブースターUPA16を接続しない場合は、必ず電通スイッチを“切側(下側)”にしてください。地デジブースターを接続しないで電通スイッチを“切側(下側)”にすると接続されたアンテナにより電源がショートし、ブースターが正常に動作しません。

注8 4K・8K放送に対応したシステムにする場合、使用機器、同軸ケーブルなどは、すべて3224MHzまでの周波数帯域で特性が保証されているものをご使用ください。

この保証書は、本書記載内容で無料修理・交換をおこなうことをお約束するものです。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、施工説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理、または代替品と交換させていただきます。

①故障内容、商品によっては修理できないことがあります。その場合は代替品と交換させていただきます。

②無料修理・交換をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買上げの販売店にお申し付けください。

③修理対象品を直接弊社まで送付された場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理をおこなった場合、出張料はお客様負担とさせていただきます。

2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。

①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。

②お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。

③火災、爆発事故、突風、豪雨、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障および損傷。

④工業地域、海岸付近、温泉地等の地域における公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。

⑤カラス、ねずみ、昆虫などの動物の行為や、植物などに起因する故障および損傷。

⑥異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。

⑦用途以外で使用した場合の故障および損傷。

⑧塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。

⑨消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。

⑩日本国外で使用された場合の故障および損傷。

⑪本書のご提示がない場合。

⑫本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換られた場合。

3. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理・交換をお受けになれない場合は、お客様窓口にお問い合わせください。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

(This Warranty is valid only in Japan)

5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

*この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理・交換をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様窓口にお問い合わせください。

*保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間にについてはお客様窓口にお問い合わせください。

保証書

CSBE25C

| 型名 | お名前 | 電話番号 |
|---------------|----------------------|----------------|
| お客様 | お住所 | () |
| お買上げ日 | 年 月 日 | 取扱販売店名・住所・電話番号 |
| 保証期間(お買上げ日より) | 本体 1 年 (但し消耗品は除く) | |

お客様窓口



0570-091039

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30
(土・日祝祭日・弊社休業日を除く)

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8

(ホームページアドレス) <https://www.nippon-antenna.co.jp/>

*製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
7128613 2022年6月